

2026年度

日本史

注 意

1. 監督者の合図があるまでは問題冊子と解答用紙を開かないでください。
2. 別紙の解答用紙は、マーク用解答用紙(1)と記述用解答用紙(2)とに分かれています。指定された解答欄をまちがえないように注意してください。
3. 解答用紙(1)は直接コンピューターにかけますので、折りまげたり、よごしたりしないでください。また枠で囲まれた部分以外には記入しないでください。
4. 解答用紙(1)にマークするときは該当する○にはっきりとマークしてください。

マークのしかた (良い例) ●
(悪い例) ⊗ ⊗ ⊗ ⊗

(万年筆、ボールペンなどは使用してはいけません)

5. 解答用紙(1)に誤ってマークした場合には、消しゴムで跡が残らないようにていねいに消し、消しかすをきれいに払ってください。
6. 試験開始後、解答用紙(1)には氏名、受験番号を記入し、さらにその番号をマークしてください。なお、受験番号を記入するときには解答用紙(1)の〔**受験番号記入上の注意**〕をよく読んで、まちがいのないようにしてください。
解答用紙(2)には、氏名、受験番号を記入してください。
7. 試験問題はこの冊子の1～10ページに記載されています。
問題冊子の余白部分は、メモとして利用して構いません。
8. 試験終了後、この問題冊子は持ち帰ってください。

- 1 次の文章を読んで、以下の問に答えなさい。(史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)

平安時代、地方政治が大きく変化していくなかで^a、有力な武士や大武士団があらわれた。10世紀前半には、東国で桓武平氏の平将門が反乱を起し^b、ほぼ同じころには西国で藤原純友が反乱を起こした^c。源経基を祖とする清和源氏は^c、10世紀ころから近畿地方に本拠をかまえて軍事貴族として活躍し、摂関家に仕えて武力で奉仕するなどした。11世紀前半には房総地方で d－1 の乱が起こると、d－2 がこの反乱を鎮圧した。これを機に源氏は東国へ進出することになった。11世紀半ばから後半には、前九年合戦や後三年合戦^eなどを鎮圧して清和源氏の名声が高まっていった。

院政のもとでは、武士は院の警護を担ったり、僧兵の強訴^fなどの防御にあたったりするなど活躍した。12世紀のなかごろに保元・平治の乱^fが起き、この二つの乱は武士の力の重要さを示し、それらに勝利した平清盛は武家最初の政権を築いた^g_h。

問 a. 下線部 a に関連して、9 世紀末から10世紀の動向に関する説明として誤っているものを、次のうちから一つ選びなさい。

- ① 最初の荘園整理令が出され、皇族や有力貴族らによる土地私有拡大の抑制がはかられた。
- ② 知行国の制度や院分国の制度が広まり、公領は知行国主や上皇らの私領のようになった。
- ③ 任国に赴任する受領が地方支配における大きな権限と責任を負うようになった。
- ④ 課税対象が人から田地に変更され、その田地は名という徴税単位に分けられた。

問 b. 下線部 b に関連して、平将門の乱・藤原純友の乱に関するア・イの説明について、その正誤の組合せとして適切なものを、下のうちから一つ選びなさい。

ア この二つの反乱は天慶の乱と称され、ともに延喜の治とよばれている時代に起こった。

イ 平将門は下総国司の藤原秀郷らに討たれ、藤原純友は大宰権帥の藤原隆家らによって討たれた。

- | | |
|----------------|----------------|
| ① ア — 正, イ — 正 | ② ア — 正, イ — 誤 |
| ③ ア — 誤, イ — 正 | ④ ア — 誤, イ — 誤 |

問 c. 下線部 c に関連して、清和源氏の源満仲が藤原氏に密告し、左大臣の源高明が大宰府に左遷された出来事が起きた時期として適切なものを、下のうちから一つ選びなさい。

- I 藤原薬子らが平城太上天皇の復位をはかったが敗れた。
II 伴健岑・橘逸勢らが謀反を企てたとして配流された。
III 大納言の伴善男らが配流された。
IV 右大臣の菅原道真が大宰府に左遷された。

- | | |
|---------------|---------------|
| ① I と II の間 | ② II と III の間 |
| ③ III と IV の間 | ④ IV のあと |

問 d. 空欄 d-1・d-2 に当てはまる語句の組合せ (d-1・d-2 の順) として適切なものを、次のうちから一つ選びなさい。

- ① 平忠常・源頼信
- ② 平忠常・源頼義
- ③ 平貞盛・源頼信
- ④ 平貞盛・源頼義

問 e. 下線部 e に関連して、前九年合戦や後三年合戦の経過を記した書物の組合せとして適切なものを、次のうちから一つ選びなさい。

- ① 前九年合戦 — 『今鏡』
- ② 前九年合戦 — 『陸奥話記』
- ③ 後三年合戦 — 『大鏡』
- ④ 後三年合戦 — 『梅松論』

問 f. 下線部 f に関連した次の史料に関する説明として誤っているものを、下のうちから一つ選びなさい。

〔史料〕

…山大衆、甲冑を帯して東の河原に下り来たる。又、奈良大衆は宇治の南辺に来たると云々。天下の災、未だ此の如き事有らず。…武士は丹後守正盛以下、天下の武者、源氏・平氏の輩、皆南京の大衆を禦がむがために、宇治の一坂辺に遣はさる。此の中、検非違使正盛、重時、忠盛行き向ふ。遂に以て合戦し、数十人を射殺し畢ぬ。是、群議に依り院の指し遣はす所なり。…

(『中右記』)

- ① 史料中の「山大衆」は、東大寺の僧兵らの衆徒をさす。
- ② 史料中の「奈良大衆」は、興福寺の僧兵らの衆徒をさす。
- ③ 史料中の「正盛」「忠盛」は、伊勢平氏の平正盛・平忠盛をさす。
- ④ 史料中の「院」は白河上皇をさし、院の命令によって源氏・平氏が動員された。

問 g. 下線部 g に関連して、保元・平治の乱に関するア～エの説明について、正しいものの組合せとして適切なものを、下のうちから一つ選びなさい。

ア 保元の乱は、院政を行っていた鳥羽法皇の死後に起こった。

イ 保元の乱は、後白河上皇と崇徳天皇との対立から起こった。

ウ 平治の乱では、院の近臣藤原信頼が源義朝と結んで兵をあげた。

エ 平治の乱後、源頼朝は鎌倉に流された。

- ① ア・ウ ② ア・エ ③ イ・ウ ④ イ・エ

問 h. 下線部 h に関連して，平清盛に関する説明として適切なものを，次のうちから一つ選びなさい。

- ① 関白や太政大臣に就任した。
- ② 家人を守護・地頭に任命した。
- ③ 高倉天皇を即位させ，外戚となった。
- ④ 大輪田泊を修築した。

- 2 次の文章 A・B を読んで、以下の問に答えなさい。(史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)

【A】 10代将軍徳川家治の時代になると、側用人^aから老中となった田沼意次が幕府の実権を掌握し、いわゆる田沼時代を現出した。この時代の最大課題は悪化した幕府財政を再建することであった。意次は年貢増徴の限界^bを踏まえ、民間の経済活動を活性化しようとした。そこで生まれる富の一部を財源に取り込もうとし、株仲間を広く公認して c－1 などの営業税の増収をめざした。一方、南鐐二朱銀などの c－2 の銀貨を鑄造させた。さらに意次は、新田開発^dを積極的に試みた。

【B】 18世紀半ば以降、商品経済の発展の影響を受けながら、民間の学問・文化・芸能が多様な発展をとげた。それが宝暦・天明期の文化であった。学問・思想の分野では、まず洋学が蘭学として発達し、医学の分野で業績があらわれた^e。日本古典の実証研究もすすみ、やがて国学^fとして発達した。一方、文学では、出版物や貸本屋の普及もあって様々なジャンルの小説が民衆に受け入れられ^gた。絵画では、浮世絵や文人画^hなどの分野で多くの作品が描かれた。

問 a. 下線部 a に関連して、側用人に関する説明として誤っているものを、次のうちから一つ選びなさい。

- ① 側用人とは、将軍に近侍し、将軍の命を老中に伝える役職であった。
- ② 将軍徳川綱吉は、柳沢吉保を側用人に登用した。
- ③ 正徳の政治では、間部詮房が側用人に登用された。
- ④ 将軍徳川吉宗は、新井白石の助言で側用人登用を中止した。

問 b. 下線部 b に関連して、次の史料は年貢増徴などの農民負担増の限界を指摘したものである。この史料に関するア・イの説明について、その正誤の組合せとして適切なものを、下のうちから一つ選びなさい。

〔史料〕

…日本は海国なれば、渡海・運送・交易は、固より国君の天職最第一の国務なれば、万国へ船舶を遣りて、国用の要用たる産物、及び金銀銅を抜き取て日本へ入れ、国力を厚くすべきは海国具足の仕方なり。自国の力を以て治る計りにては、国力次第に弱り、其弱り皆農民に当り、農民連年耗減するは自然の勢ひなり。

(『経世秘策』)

ア この史料は、貿易によって富国をはかり、農民の消耗を防ごうとしたものである。

イ この史料が掲載されている書物は、経世家の本多利明が著したものである。

- | | |
|----------------|----------------|
| ① ア — 正, イ — 正 | ② ア — 正, イ — 誤 |
| ③ ア — 誤, イ — 正 | ④ ア — 誤, イ — 誤 |

問 c. 空欄 c-1・c-2 に当てはまる語句の組合せ(c-1・c-2 の順)として適切なものを、次のうちから一つ選びなさい。

- ① 運上・秤量貨幣
- ② 運上・計数貨幣
- ③ 棟別銭・秤量貨幣
- ④ 棟別銭・計数貨幣

問 d. 下線部 d に関連して、江戸時代の新田開発に関するア・イの説明について、その正誤の組合せとして適切なものを、下のうちから一つ選びなさい。

ア 新田開発によって、17世紀初めから18世紀初めまでに全国の耕地は2倍近くに拡大し、年貢米の増収をもたらした。

イ 老中田沼意次は、印旛沼・手賀沼の大規模な干拓工事を完成させた。

- | | |
|----------------|----------------|
| ① ア — 正, イ — 正 | ② ア — 正, イ — 誤 |
| ③ ア — 誤, イ — 正 | ④ ア — 誤, イ — 誤 |

問 e. 下線部 e に関連して、医学を含む蘭学の動向Ⅰ～Ⅲを、古いものから年代順に並べたものとして適切なものを、下のうちから一つ選びなさい。

Ⅰ キリシタン関係以外の漢訳洋書の輸入制限が緩和された。

Ⅱ 蛮書和解御用が設置され、高橋景保を中心に洋書の翻訳にあたった。

Ⅲ 前野良沢・杉田玄白らが訳述した『解体新書』が刊行された。

- | | |
|-------------|-------------|
| ① Ⅰ — Ⅲ — Ⅱ | ② Ⅱ — Ⅰ — Ⅲ |
| ③ Ⅱ — Ⅲ — Ⅰ | ④ Ⅲ — Ⅰ — Ⅱ |

問 f. 下線部 f に関連して、国学者とその著書との組合せとして適切なものを、次のうちから一つ選びなさい。

- ① 荷田春満 — 『万葉代匠記』
- ② 賀茂真淵 — 『新論』
- ③ 本居宣長 — 『古事記伝』
- ④ 塙保己一 — 『自然真営道』

問 g. 下線部 g に関連して、江戸時代中期の出版や小説に関するア・イの説明と、それに該当するⅠ～Ⅳの語句との組合せとして正しいものを、下のうちから一つ選びなさい。

ア 蔦屋重三郎は本屋を経営し、小説や絵画など多くの作品を刊行したが、のちに家財半減の処分を受けた。

イ 遊里での通人の遊びなど滑稽と通を描いた小説で、その代表的な作家に山東京伝がいる。

Ⅰ 懷徳堂 Ⅱ 耕書堂 Ⅲ 洒落本 Ⅳ 人情本

① ア — Ⅰ, イ — Ⅲ ② ア — Ⅰ, イ — Ⅳ

③ ア — Ⅱ, イ — Ⅲ ④ ア — Ⅱ, イ — Ⅳ

問 h. 下線部 h に関連して、浮世絵と文人画に関するア～エの説明について、正しいものの組合せとして適切なものを、下のうちから一つ選びなさい。

ア 菱川師宣は、木版による浮世絵の版画をはじめ、都市の風俗を描いて人気となった。

イ 喜多川歌麿は、多色刷り版画である錦絵を創始し、『婦女人相十品』などの作品を残した。

ウ 円山応挙は、明・清の南宗画の影響を受けて文人画を大成し、文人画の発展に貢献した。

エ 池大雅は、独自の日本南画を完成させ、与謝蕪村との合作である『十便十宜図』を描いた。

① ア・ウ ② ア・エ ③ イ・ウ ④ イ・エ

3 次の文章 A・B を読んで、以下の問に答えなさい。

- 【A】 第一次世界大戦後、ヨーロッパ諸国の復興が進むなか、日本は、たびたび経済危機におそわれた。 a の田中義一内閣は、金融危機に対して3週間のモラトリアム(支払猶予令)を発令し、日本銀行から巨額の救済融資をおこなうことで事態の収拾をはかった。田中内閣退陣後に成立した立憲民政党の c 内閣は、第一次世界大戦後まもなく金本位制に復帰した欧米諸国に
ない、金輸出解禁を断行した。しかし、それによる影響と世界恐慌の波及に
よって、日本経済は深刻な不況におちいった。これに対し c 内閣は、
指定産業のカルテル結成をうながす e を制定した。
- 【B】 サンフランシスコ平和条約を締結した f 内閣は、その後、国内の治安体制強化と再軍備を進めた。治安体制強化として、労働運動や社会運動をおさえるための法整備がなされた。1952年、過激な政治運動の取り締まりを強化する h が制定された。また、アメリカの軍備強化の要求に対し、防衛協力の実施に踏み切った。これに対して、アメリカ軍基地反対闘争や原子爆禁止運動などの平和運動が展開された。

問1 空欄 a に当てはまる政党名を答えなさい。

問2 下線部 b に関連して、以下の問に答えなさい。

- (1) 1927年、田中内閣は、中国関係の外交官・軍人を東京に召集して会議を開き、満洲における日本権益を実力で守る方針を決定した。この会議を何とよぶか答えなさい。
- (2) 1928年、田中内閣は、日本共産党員の一斉検挙をおこない、日本労働組合評議会などの関係団体を解散させた。この事件を何とよぶか答えなさい。

問3 空欄 c に当てはまる首相の姓名を答えなさい。

問4 下線部 d に関連して、以下の問に答えなさい。

- (1) この不況を何とよぶか答えなさい。
- (2) は、農民の生活向上をめざして農業指導を実践するとともに、詩「雨ニモマケズ」などを書いて詩人としても活躍した。この空欄に当てはまる人物の姓名を答えなさい。

問5 空欄 e に当てはまる法令を何とよぶか答えなさい。

問6 空欄 f に当てはまる首相の姓名を答えなさい。

問7 下線部 g の契機となった出来事として、デモ隊と警察官とが衝突し、多数の死傷者を出した「血のメーデー事件」がある。この事件が起きたのは1952年何月何日か答えなさい。

問8 空欄 h に当てはまる法令を何とよぶか答えなさい。

問9 下線部 i に関連して、アメリカ軍立川基地の拡張計画に対して、1950年代に地元の町民と支援の革新勢力が激しく抵抗した事件を何とよぶか、漢字4文字で答えなさい。

問10 下線部 j に関連して、以下の問に答えなさい。

- (1) 1954年、中部太平洋のビキニ環礁でのアメリカの水爆実験によって、日本の漁船 の乗組員が被爆した。この空欄に当てはまる語句を漢字5文字で答えなさい。
- (2) 日本人初のノーベル賞受賞者であり、科学者による核兵器禁止運動の中心となったパグウォッシュ会議に参加した人物の姓名を答えなさい。